

6月6日農産物直売所オープン…1面
 連続立体交差事業に着手……………2面
 梅郷駅東口仮設駐輪場開設……………3面
 15万人のひろば……………8～9面
 おしらせ・5月の相談日……………12～13面
 5月の休日当番医……………16面

■農産物直売所案内図



所在地	船形280番地の1
敷地面積	1,353㎡(建築面積は154.2㎡)
営業日	年末年始を除く毎日
営業時間	9時30分～18時30分
その他	駐車場25台、障害者用トイレ

6月6日オープン

農産物「ゆめあぐり野田」で

新鮮で安全な地元の農産物を

市では、市内の農業者や農業団体、障害者団体などが生産する農産物を皆さんに広く販売する「野田市農産物直売所」を6月6日、船形地区にオープンします。直売所では、減農薬・減化学肥料栽培し朝どりした新鮮な野菜や、みそ、漬物、生花、米などを、安心して購入していただくこと、生産者などによる運営組合を組織していただき、研修や講習会を行い、安心・安全な商品の提供に心がけています。

市では、市内の農業者や農業団体、園芸福祉に取り組んで

る障害者団体などが生産する農作物を、市民の皆さんをはじめ多くの方に直接販売する「農産物直売所・ゆめあぐり野田」を

研修や講習会で安全な野菜を

6月6日(金)にオープンします。消費者と販売者の両者にとつて、より便利で親しみやすい施設とするため、市内農業者や障害



みそや漬物などの加工品や地元の工芸品も

者団体などで組織した準備委員会で運営や販売方法などを検討していただき、また、農産物を販売する運営組合員を公募し、昨年5月に90人の「野田市農産物直売所運営組合」を設立しました。組合では、安心して安全な商品販売しようとして、先進直売所の視察研修をはじめ、野菜の栽培計画や栽培指導、残留農薬基準、食品衛生法などの講習会を行ってきたほか、昨秋からは野菜の作付けや加工品の試作も実施し、準備してきました。

障害者の雇用の場にも

また、直売所が、第二の福祉ゾーンとして整備を進める船形地区にあることから、市では、障害者の自立支援として、心身状態の改善と社会参加のための園芸福祉で作った農産物を、自らの手

で販売していただく、雇用の場としても活用していく予定です。

開設記念に「枝豆の特売」も

公設民営で運営する直売所では、減農薬・減化学肥料栽培し、朝どりの枝豆やトマトなどの野菜や、桃や梨などの果物、卵、米、生花、みそや漬物などの加工品、地域特産の工芸品など、市内の生産者が卸売業者などを通さずに直接搬入した商品を販売します。また、ほとんどの商品に生産者や産地が入ったバーコードを表示し、皆さんへ「安心・安全・良品」なものをご提供します。

なお、オープンから8日(木)までの3日間は開設を記念して、枝豆の特売や記念品のプレゼントなどを行う予定です。詳細は次号以降でお知らせします。

【問合せ】農政課